

学校生活全般について



石川 友和
議員

春日部市もSDGs未来都市です。SDGsの中にはジェンダー平等を実現しようという目標があります。中学校の制服においても、男子は学ラン、女子はセーラー服やスカートみたいな固定概念も見直す時期がとっくに来ていると思います。

そこで、以下伺います。
①春日部市の公立中学校、義務教育学校での制服選択制の現状は②豊春中が制服の見直しの検討に入った経緯は③埼玉県の県立高校は今年度から一斉に制服選択制となったが、それに対する春日部市の認識は④制服選択制の春日部市として今後の対応は。

○学務指導担当部長
①葛飾中学校では、女子はブレザーに、スカートかスラックスを選べるようにしています。その他11校では制服選択制の検討を始めている、あるいは検討予定となっています。

②性の多様性や、暑さ・寒さへの対応、制服の機能性を考慮する必要があることや、生徒からの声があったことから見直しを検討することとなったものです。
③性の多様性や気候などへの対応として、現代のニーズに合った取り組みであると捉えています。
④制服選択制の検討に当たっては、新たな制服を制定する、現状の制服にスラックスを追加するなど、児童生徒、保護者などの声を聞き、理解を得ながら、慎重に検討していく必要があると考えています。



制服選択制 (イメージ)

本市における 非正規職員の 雇用状況について



大里 昇
議員

総務省によると、全国の自治体で働く非正規職員の中には、保育士や相談員など、経験と知識が問われる職も多く、正規職員の減少が続く自治体を支えているとのこと。

契約は単年度で、改めて採用公募をクリアしなければ雇用が継続されない原則があり、短期的な人材入れ替えは行政サービスの低下を招き、職員を精神的に傷つけてはいないかとも思います。職場のブラック化が進み、公募でも人材が集まらない自治体もあるとのこと。

そこで、本市における非正規職員の任用制度と雇用人数の推移、また、どのような業務に従事しているのか、今年度も含め直近3カ年について伺います。

○総務部長
非常勤職員の任用制度について、勤務時間が正規職員と同様のフルタイム、正規職員より短いパートタイム会計年度任用職員があります。また、職員数の推移については、令和3年度、フル225人、パート327人、令和4年度、フル234人、パート342人、令和5年度、フル242人、パート346人です。
会計年度任用職員の業務については、上司の命を受け、補助的な業務に従事しているものです。
このほか
○こども家庭庁の発足に伴う本市の取り組みについて
○市民が喜ぶようなサービスの取り組みについて

罹災者支援の 拡充について



木村 圭一
議員

災害や火災などによって住む場所を失った方にとって、被災後の住居を確保することは深刻な課題です。こうした時だからこそ行政が寄り添ってあげるべきではないかと考えます。県や市によって住居確保に関する支援に格差があるようだと考えさせられます。

そこで、本市が所有する市営住宅などを、一時的に費用負担なく借用できるような環境づくりをしておくことが大切ではないかと思いますが、本市が管理する市営住宅などの一室を罹災された方専用確保しておくなどの対応は取れないものなのでしょうか。
また、罹災支援に対する財政基盤をしっかりと持つておくために、被災された方を支援するための基金みたいなものを設立できないでしょうか。
○都市整備部長
罹災された方専用確保することは、市営住宅に通年を通して空き部屋があること、また、県営住宅も空き部屋を使用できることから、現状の対応で可能と考えています。

○福祉部長
基金の設立は、被災者の生活再建や支援の一助になるものと認識しています。全国で見ますと、災害対策本部を設置するなど、大きな災害が発生した際に活用される基金で、目的が異なることから、他市の動向を注視していきます。
このほか
○EV公用車の普及とEV自動車の利活用について
○防災アプリについて

高齢化社会に対する 市の取り組みは



河井 美久
議員

現在、著しく物価は上昇している反面、年金は下がり続け、仕事をしなければ生活できない高齢者の方が増えています。また、特に病気を患っている单身世帯の方や高齢者世帯の方々は、ますます生活する上で苦しい状況です。

第1次ベビーブームに生まれた団塊世代の方々が75歳以上の後期高齢者になる2025年には、国民の約3割が65歳以上となる超高齢化社会が到来すると予測されています。そこで、今後さらに高齢化が進む社会においても、高齢者が生きがいをもって生活ができる対策について、市の考えを伺います。

○福祉部長

本市の対策については、健康・生きがいづくり対策事業として、高齢者自らが健康維持・増進を図るため、ストレッチやリズムダンスなどの健康に関する講習会を開催して

います。また、高齢者に学習の機会を提供し、心身の健康を培い、併せて社会参加による生きがいを高めるため、ふれあい大学・大学院を実施しています。

令和4年度からは、高齢者の方が、より早く情報を受け取る機会を増やすため、「スマートフォン活用講座」を実施しています。

今後、さらに高齢化が進む社会であることから、多くの高齢者が生きがいを持って活躍できる環境づくりや心豊かな生活ができるよう対策を図っていきたくと考えています。

内牧地区公民館の 駐車場について



金子 進
議員

内牧地区公民館の駐車場については、令和4年度末に新たに完成しました。新しい駐車場は、以前の駐車場と比べて駐車台数がだいぶ少なくなっていると思います。総会などのイベントがあると、すぐに満車になってしまいます。また、最近の異常気象によ

る大雨の被害が心配されています。高台にある内牧地区公民館は避難所として指定され、災害が発生した場合に、避難される人が大変多くいると思います。防災の観点からの安心安全のためにも、ある程度の駐車場の確保が必要であると思います。

そこで、新しい駐車場の整備経過と駐車台数、また、駐車場増設の考えを伺います。

○社会教育部長

駐車場の整備経過は、これまでの駐車場用地を返還後、旧県道を挟んだ内牧小学校の正門前の民間駐車場および内牧小学校の駐車場の一部を借用し、暫定的に公民館の駐車場として利用していました。

駐車台数は、令和5年3月に、公民館から北西に約50メートルの場所に、新たに21台の駐車場を全面的に供用開始したところです。併せて、多くの方の来館が見込まれる場合には、臨時的に共栄大学のグラウンド駐車場の利用を引き続きお願いしています。駐車場の増設は、今後研究していきたいと考えています。

このほか

○環境センターの課題について

北春日部駅周辺地区 土地区画整理事業の 進展に伴って



阿部 雅一
議員

北春日部駅周辺地区土地区画整理事業については、地域住民の皆さまをはじめ、私も大変待ち望んでいます。当区画整理事業は、北春日部駅周辺のみならず、春日部市全体

のまちづくりとしての大事業であり、私の自宅の目の前でもあることから、毎回一般質問で取り上げさせていただき、リアルタイムの新鮮な情報をお伺いしています。

これから現実に工事が動き出し、換地の計画も進んでいくのに伴って、区画整理組合員の皆さまはもとより、周辺住民の皆さまの本事業に対する問い合わせや心配事も、ますます増えていくことが予想されます。

本市として、それらに対してどのような対応を考えているのかお伺いします。

○都市整備部長

本事業における問い合わせなどの対応ですが、土地区画

整理組合においては、梅田土地区画整理記念館の隣接地に組合の事務所が完成したところです。この事務所には、事務代行者である昭和株式会社の方が常駐していますので、問い合わせについては、この事務所で対応していきます。

また、本市としても、周辺地域の方から連絡を受けた際には、昭和株式会社と情報を共有し、連携して取り組んでいきたいと考えています。

このほか

○内牧公園について

○新本庁舎移転について

○動物愛護管理行政について



完成した区画整理組合事務所

学校図書館について



平沢 一博
議員



学校図書館は全ての小・中・高等学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校に置かなければならないものであり、「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能を有しており、本来は、学校教育の中でも非常に重要な位置付けを与えられている設備です。

そこで、以下伺います。

- ①本市における学校図書館の現状について。
 - ②教職員の負担軽減の一助となる学校図書館支援員は、学校図書館の運営を支え、学校図書館を利用した活動に欠かすことができない人材であり、今後さらに能力の向上や、配置人数の充実を図る必要があると考えるが本市の見解は。
- 学校教育部長
- ①小・中学校、義務教育学校の学校図書館の図書整備率において、国は学校規模に応じた学校図書館図書標準を定め

「子育てするなら春日部」と
言える保育の充実を



並木 敏恵
議員



100%達成を目標としています。本市の達成状況は、令和4年度の実績で、江戸川小中学校を含む小学校が118・6%、江戸川小中学校を含む中学校が110・6%となっています。

②司書の資格を有する職員による学校図書館支援員への研修や相談により、専門的な知識、技能の向上を図るとともに、各学校の司書教諭と連携し、学校図書館を活用した教育活動を支援していきます。

このほか

○学力不振の生徒への対応について



学校図書館 (イメージ)

安心して子どもを産み、育てられる社会「子育てするなら春日部」と言えるまちをつくることで、人口減少に歯止めをかけ、まちに活気を取り戻すことができます。

今年の年度当初、保育所待機児童は何人か伺いたい。また、待機児童をなくす見通しはどうか。第3保育所は閉鎖の予定だが、公立保育所の新増設こそ必要と思うが、市の見解は。保育士不足のため、定員通りの受け入れができない保育所があるが、市の対策はあるか伺いたい。

○こども未来部長

4月の待機児童は1歳児11人、2歳児2人の13人です。待機児童解消については、既存の幼稚園に小規模保育施設併設などを促すとともに、民間保育園の誘致に努めます。公立保育所は築50年以上経過している施設が多く、「建て替え」を優先して検討してい

「米Cityかすかべ」
かすかべブランドの
実現に向けて



吉田 稔
議員



きます。保育士不足は、全国的にも問題になっています。近年では、発達の遅れなどにより、支援が必要な児童が増加傾向で、ニーズも多様化し、安全な保育を提供するために、国の基準よりも多くの保育士を配置する必要があります。他市の事例を参考に保育環境の充実に努めていきます。

このほか

○放課後児童クラブは指定管理をやめて直営に

○市民が主人公のまちへ、市民参加を促進する仕組みづくり

昨年から立ち上がった、南彩農協・埼玉みずほ農協・春日部商工会議所・庄和商工会・春日部市観光協会・川上製麺所・みたけ食品工業の7事業者での取り組みである「米Cityかすかべ」。

「生産者から売り手まで」のオールスターズでの取り組み

みとなっており、当初より非常に注目していましたが、以下伺います。

- ①昨年度の実績について
- ②今年度の取り組みについて

○環境経済部次長

令和4年度については、関係機関が連携し、米粉適性米の栽培、微粉末の製粉、米粉の製麺など、さまざまな技術開発、商品開発などの実証実験を行ってきたところです。

令和5年度については、パンやお菓子などに適した品種とされる、笑みたわわの実証実験に着手したところです。

また、令和4年度の課題を踏まえ、引き続き、米粉に適した品種とされる、亜細亜のかおりの田植えも行ったところですが、

さらに、「親子で作ろう米粉ピザ」と題し、親子を対象とした地産地消料理教室や、飲食事業者などを対象に令和4年度産の亜細亜のかおりの米粉を試作用として提供する事業の開催を予定しており、米粉の魅力を市民や事業者の皆さまに知っていただく取り組みを行っています。

このほか

○魅力あふれる江戸川小中学校について